

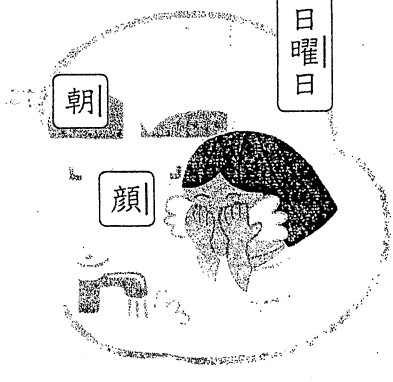
考えましょう。

名前

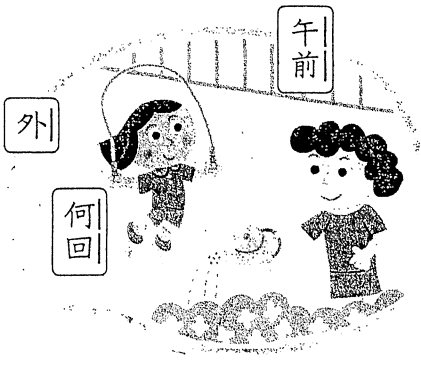
時を表す言葉を使って、日曜日の出来事と、家の人の今週の予定を書きましょう。
ていねいな字で書きます。



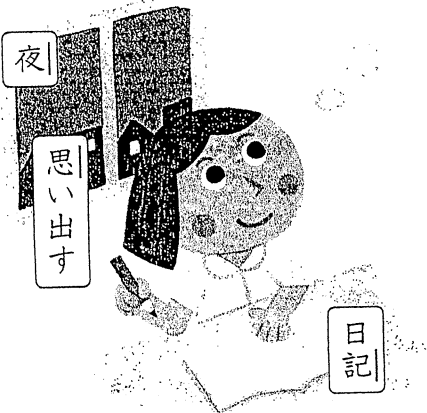
Blank writing area with vertical lines.



Blank writing area with vertical lines.



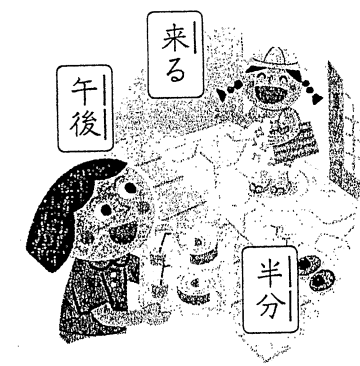
Blank writing area with vertical lines.



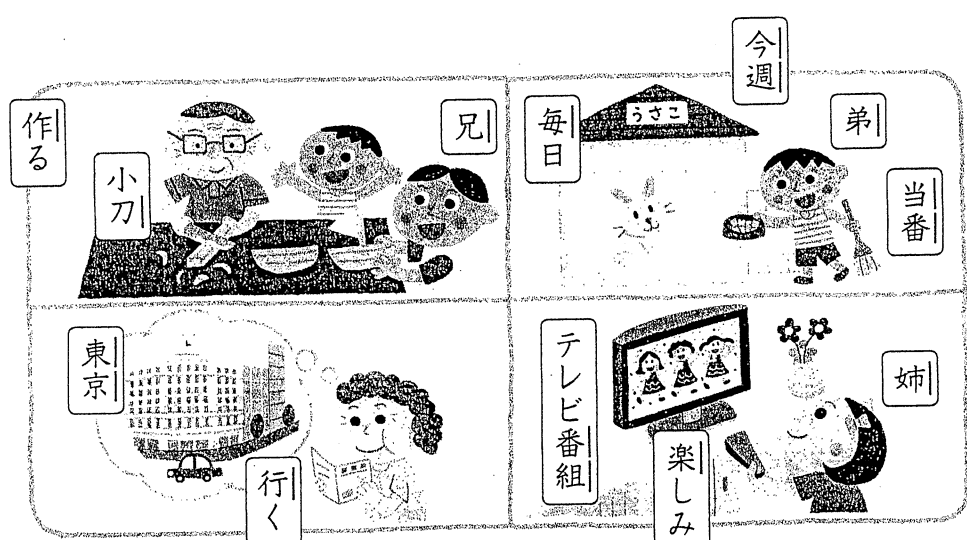
Blank writing area with vertical lines.



Blank writing area with vertical lines.



Blank writing area with vertical lines.



Blank writing area with vertical lines.

Blank writing area with vertical lines.

Blank writing area with vertical lines.

Blank writing area with vertical lines.

わかば(教科書P.1)

()

①音読を五回しましょう。

②詩を写し、その下に絵をかきましょう。

③詩を読んだ感そつを書きましょう。

どきん(教科書P.12)

()

①音読を五回しましょう。

②詩を写し、その下に絵をかきましょう。

どきん

谷川 俊太郎

鎌田 光代 絵

①教科書 36~37ページを、二回音読しましょう。

②春らしい言葉を、十二じじょう考えて、書きましょう。

・

・

・

・

③春らしさを感じたものについて、「できごと」と「かんそう」

に分けて、書きましょう。

Vertical dashed lines for writing answers to question 3.

①教科書 85~87ページを、三回音読しましょう。

②86ページのQRコードの動画(俳句のろう読)を聞きま
しょう。

③俳句について、まとめましょう。

・俳句は、()の十七音で作られた短い詩。

・()という、きせつを表す言葉が入る。

・十七音の中に()の様子や、そこから感じ

られることが表される。

④一番気に入った俳句と、その理由を書きましょう。

気に入った俳句

Large rounded rectangular box for writing the reason for a favorite haiku.

(理由)

(れい)

土曜日に、家でせくらゆきのみました。

↑できごとと

おゆの中にせくらの花がさいたみたいでした。

ほんのりいいにおいがして、春だなあと思

いました。

かんそう。

Box containing the example text for question 3.

漢字の音と訓(38〜39ページ)

①教科書38〜39ページを、三回音読しましょう。

②音と訓について、まとめましょう。

音 <small>おん</small>	訓 <small>くん</small>
聞いただけでは、 意味の() ()が多い。	聞いてすぐに 意味の() ()が多い。
漢字が生まれた () ()の読み方	古くからある () ()の読み方

③もんだいに、ちょうせんしましょう。

(1)音と訓の、どちらが使われているでしょうか。音は

カタカナ、訓はひらがなで読み方を書きました。

- ・公園 ()
- ・一分 ()
- ・毎日 ()
- ・水 ()
- ・話 ()
- ・近道 ()

(2)漢字の音と訓を、どちらも使って文を作りましょう。

小・・・小学校で、小さなねこを見た。

下・・・

回・・・

切・・・

楽・・・

① 次の——線の漢字の読み方を書き、同じ漢字で読み方のちがう

ものは、音はかたかな、訓はひらがなで、下に書き出しましょう。

〈れい〉

朝あさ早くおきて、ゆっくり朝食チヨウシヨクをとった。

(1) 物語の登場人物になりきって音読する。

(2) 午後に後かたづけをしよう。

(3) 教科書を見て、字を書いた。

(4) 家の中から家族のわらい声が聞こえる。

家		書		後		物		朝	
訓	音	訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
								あさ	チヨウ

② ——線の漢字の読み方を、音はかたかな、訓はひらがなで書き

ましょう。分からないときは、148〜156ページで調べましょう。

(1) 大切 大きい 大学生

(2) 遠足 足のうら 足りない

(3) 五十音 リコーダーの音 音色

(4) 数字 数える 大きな数

(5) 開店 店を開く ドアを開ける

(6) 人間 となりの人 人物

何かを指ししめす言葉

1

こそあど言葉を使いこなそう

名前

① 教科書 88・89 ページを二回声に出して読みましょう。

② 知っているこそあど言葉を書き出して、それを使った文を作り

ましょう。(れい)

あの

あのボールで遊ぼうよ。

こ	そ	あ	ど
こ	そ	あ	ど
こ	そ	あ	ど
こ	そ	あ	ど

③ 教科書 88 ページの下の表をさん考にして、こそあど言葉をあつめて、使い方を整理しましょう。

			何を指ししめすか	使い分け
			話し手に近い場合	こ
				そ
				あ
				ど
物事				

④ こそあど言葉を□でかこみ、それが指している部分に線を引きましょう。

(れい)

わたしは、遊園地にいきました。

それは、きのうのことです。

・ 近所に新しいプールができました。次の土曜日には、そこで泳ぐ予定です。

・ しあいのつもりで練習するとよい。これが、コーチからの助言です。

・ 童話の読み聞かせの会に申し込みました。あれは、三日前のことです。

・ きつつきが、お店を開きました。それはもう、きつつきにぴったりのお店です。

・ ひもを引っぱって回すと、あなから風が入りこんで、ポーツという音が鳴ります。その音から、うなりごまともよばれています。

1 はじめて知ったことを知らせよう
名 前

① 教科書 100 ～ 111 ページを読みましよう。

② 「鳥になったきょうりゆうの話」を読んで、はじめて知ったことを書きましよう。

はじめて知ったこと	感じたこと、考えたこと

③ 今まで読んだ本の中で、本を読んでのはじめて知ったことを書きましよう。(104 ページを
さん考にします)

本の題名	
その本をえらんだ理由	
おどろいたこと、感心したこと、ふしぎに思ったことなど	
本にきょうみをもってもらっためよびかけ	

ローマ字 (128 ～ 124 ページ)

① 教科書 128 ～ 124 ページを、音読しましよう。

② 124 ページの QR コードの動画(アルファベットの書き方)を見ましよう。

③ ローマ字の練習をしましよう。

・ローマ字ドリル 1 ～ 9 ページをていねいに書く。

★教科書 126 ～ 124 のローマ字の決まりについては、学校でもふくしゅうします。「あいうえお」などは書けるようにしておきましよう。パソコンの文字入力の際にも、ひつような知しきになります。